

令和4年7月1日  
(2022年)佐井寺西土地区画整理事業に係る環境影響評価  
事後調査報告書（令和3年度版）の概要

環境部環境政策室

## 1 内容

令和3年度（2021年度）に行われた佐井寺西土地区画整理事業に係る工事について、事後調査計画書（令和3年（2021年）10月）に基づいて事業者が実施した事後調査の結果及び環境保全措置の実施状況をとりまとめている。

工事中の事後調査報告書は、通常工事終了後に提出するが、本事業は工事期間が数年にわたるため、年次状況報告書を毎年度本市へ提出することになっている。

## 2 受理日

令和4年（2022年）6月27日（月）

## 3 事業者

吹田市

## 4 報告の概要と所見

令和3年度に実施された工事は仮設沈砂池の築造など、事業全体の規模からすると非常に小規模で、工事が実施されたのはごく限られた地域で期間も限定的であった。

## (1) 大気汚染

工事中の二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、実施した工事区域周辺において、工種別の排出係数、作業日数を把握することにより排出量及び濃度を算出したところ、評価の基準値を下回っていたことから、著しい影響はないと考える。

本市は、排出ガス対策型の建設機械の使用など、環境影響評価で事業者が実施することとなっている大気汚染防止措置の確実な履行を求めていく。

## (2) 騒音・振動

工事中の騒音及び振動については、実施した工事区域周辺の測定地点において、JISZ8731（環境騒音の表示・測定方法）及びJISZ8735（振動レベル測定方法）に基づいて測定を行ったところ、評価の基準値を下回っていたことから、著しい影響はないと考える。

本市は、仮囲いや養生シート、必要に応じて防音シートや防音パネルの設置など、環境影響評価で事業者が実施することとなっている騒音・振動防止措置の確実な履行を求めていく。

## (3) 交通混雑・交通安全

工事中の工事関連車両の走行台数については、工事作業日報から工事関連車両の走行ルート及び台数を整理し、評価書との対比により、影響の程度を把握したところ、走行車両はごくわずかで、著しい影響はないと考える。

本市は、適切な車種の選定、走行ルートや時間帯の設定など、環境影響評価で事業者が実施することとなっている交通混雑の低減や交通安全措置の確実な履行を求めていく。

## (4) 動植物・生態系

動植物・生態系については、工事前の環境取組として、一部の動物の移動、植物の播種及び移植、並びに特定外来生物の駆除を実施した。なお、環境影響評価の追加調査として実施した赤とんぼ類の調査報告書を添付している。

本市は、移動、移植後のモニタリングや特定外来生物の駆除など、環境影響評価で事業者

が実施することとなっている評価、対策の確実な履行を求めていく。

(5) 環境保全措置の実施状況

工事の実施にあたっての環境保全措置について、令和4年3月末時点の実施状況又は実施予定を示している。

本市は、環境保全措置の実施内容について、調査結果をもとに検証し、その履行状況を確認している。

5 今後の対応

本市は、事業者に対して、環境保全目標の達成や基準値の厳守はもとより、さらなる環境対策を求めることで、市民にとって良好な環境が保全されるよう指導していく。